PWM Japan Securities
PWM日本証券株式会社
A Chartered Company

PWM 日本証券株式会社
〒104-0031　東京都中央区京橋二丁目 14 番 1 号　兼松ビルディング 9 階
電話 03（3561）4100（代表）　https://www.pwm.co.jp/

一定の投資性金融商品の販売・仲介に係る　　2021年10月29日

重要情報シート（個別商品編）（証券投資信託）

1. 商品の内容（当社は、組成会社等の商品を販売会社として、お客さまに商品の勧誘を行っています）

金融商品の名称	ピムコ世界債券戦略ファンド（毎月決算型）　Bコース（為替ヘッジなし）
組成会社（運用会社）	ニッセイアセットマネジメント株式会社
販売委託元	ニッセイアセットマネジメント株式会社
金融商品の目的・機能	投資対象とする外国投資信託証券を通じ、世界各国の債券を実質的な主要投資対象とし、安定したインカムゲインの確保と信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。
商品組成に携わる事業者が想定する顧客層	世界各国の債券を実質的な主要投資対象とし、安定したインカムゲインの確保と信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行うことから、中長期での資産形成を目的とする方を想定しています。主として、日本を除く先進国の投資適格債を実質的な投資対象とすることから、一定程度の収益を求め、ある程度の元本割れリスクを許容する方を想定しています。
パッケージ化の有無	本商品は、複数のファンドを組入れるファンド・オブ・ファンズ(FOFs)です。ただし、これらを個別の
クーリング・オフの有無	ファンドのお取引に関しては、クーリング・オフ(金融商品取引法第37条の6の規定)の適用はありません。

（ご質問の一例）
① あなたの会社が提供する商品のうち、この商品が、私の知識、経験、財産状況、ライフプラン、投資目的に照らして、ふさわしいという根拠は何か。
② この商品を購入した場合、どのようなフォローアップを受けることができるのか。
③ この商品が複数の商品を組み合わせたものである場合、個々の商品購入と比べて、どのようなメリット・デメリットがあるのか。

2. リスクと運用実績（本商品は、円建ての元本が保証されず、損失が生じるリスクがあります）

損失が生じるリスクの内容	ファンドは、主に外国の債券を投資対象としますので、金利変動等による組入債券の価格の下落、組入債券の発行体の財務状況の悪化等の影響により、ファンドの基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、これらに加え、為替の変動により損失を被ることがあります。 主なリスクは、以下の通りです(ただし、以下に限定されるものではありません)。 債券投資による金利変動リスク、信用リスク、期限前償還リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、流動性リスク
【参考】過去1年間の収益率	10.1%(2021年3月末現在)
【参考】過去5年間の収益率	平均0.5%　　最低▲12.9%(2016年6月)　　最高11.2%(2017年9月) (2016年4月～2021年3月の各月末における直近1年間の数字)

※ 損失リスクの内容の詳細は交付目論見書の「投資リスク」、運用実績の詳細は交付目論見書の「投資リスク」、「運用実績」に記載しています。
（ご質問の一例）
④ 上記のリスクについて、私が理解できるように説明してほしい。
⑤ 相対的にリスクが低い類似商品はあるのか。あればその商品について説明してほしい

3. 費用（本商品の購入又は保有には、費用が発生します）

購入時に支払う費用 (販売手数料など)	一律2.75%（税込）
継続時に支払う費用 (販売手数料など)	運用管理費用(信託報酬)は毎日、ファンドの純資産総額に年率1.595%（税込）(税抜1.45%)をかけた額とし、ファンドからご負担いただきます。また、監査費用は毎日、ファンドの純資産総額に年率0.011%（税込）(税抜0.01%)をかけた額を上限とし、ファンドからご負担いただきます。 その他、組入有価証券の売買委託手数料、信託事務の諸費用および借入金の利息等は随時、ファンドからご負担いただきますが、これらの費用は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を記載することはできません。
運用成果に応じた費用 (成功報酬など)	ありません。

※ 上記以外に生ずる費用を含めて詳細は交付目論見書の「手続・手数料等」の項目に記載しています。
（ご質問の一例）
⑥ 私がこの商品に〇〇万円を投資したら、それぞれのコストが実際にいくらかかるのか説明してほしい。
⑦ 費用がより安い類似商品はあるか。あればその商品について説明してほしい。
⑧ 上記費用について、何の対価か説明してほしい。

4. 換金・解約の条件（本商品を換金・解約する場合、一定の不利益を被ることがあります）

本商品の償還日は、2023年3月17日です。ただし、償還延長や繰上償還の場合があります。
本商品には解約時、解約手数料や信託財産留保額は生じません。
金融商品取引所の取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情があるときには、換金の申込みの受付けを中止すること、および既に受付けた換金の申込みの受付けを取消すことがあります。なお、申込日がニューヨーク証券取引所の休業日と同日の場合は、換金の申込みの受付けを行いません。

※ 詳細は契約締結前交付書面「交付目論見書」の「手続・手数料等」の項目に記載しています。

（ご質問の一例）

⑨ 私がこの商品を換金・解約するとき、具体的にどのような制限や不利益があるのかについて説明してほしい。

5. 当社の利益とお客さまの利益が反する可能性

当社がお客様に本商品を販売した場合、当社は、お客様が支払う費用（販売手数料、信託報酬等の名目を記載）のうち、組成会社等からファンドの純資産総額に対して年0.88%（税込）（税抜0.8%）の手数料を頂きます。これは購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理及び事務手続き等の対価です。
当社は、本商品の組成会社等との間で、資本関係等の特別の関係はありません。
当社の営業員に対する業績評価上、本商品の販売が他の商品の販売より高く評価されることはありません。

※ 利益相反の内容とその対処方針については、「顧客本位の業務運営に関する原則」の「取組方針」をご参照ください。

https://www.pwm.co.jp/cf_policy

（ご質問の一例）

⑩ あなたの会社が得る手数料が高い商品など、私の利益よりあなたの会社やあなたの利益を優先した商品を私に薦めていないか。私の利益よりあなたの会社やあなたの利益を優先する可能性がある場合、あなたの会社では、どのような対策をとっているのか。

6. 租税の概要（NISA、つみたて NISA、iDeCo の対象か否かもご確認ください）

分配時に、配当所得として、普通分配金に対して 20.315%が課税されます。また、換金時および償還時に、譲渡所得として、換金時および償還時の差益（譲渡益）に対して 20.315%が課税されます。本商品は、課税上は株式投資信託として取扱われます。また、配当控除、益金不算入制度の適用はありません。
本商品は、当社に於いて、NISAの対象ですが、つみたてNISA、iDeCoの対象ではありません。

※ 詳細は契約締結前交付書面「交付目論見書」の「手続・手数料等」の項目に記載しています。

7. その他参考情報（契約にあたっては、当社 Web サイトに掲載された次の書面をよくご覧ください）

販売会社（当社）が作成した「契約締結前交付書面」	本商品の契約締結前交付書面は、作成しておりません。	
組成会社（運用会社）が作成した「目論見書」	http://t2.jiji.com/linkbox/PDFDownloadServlet?tcode=T0401075119&PDFValue=user/pwm-sec/moku/&userID=pwm-sec	